

韓国船遭難救護の碑

福井県・小浜市



この碑は、1900年に起きた韓国船遭難救護から百年目の2000年に建立された。日韓の善隣友好の心の礎にしようと歴史の現場に記念碑を建立、遭難救護の記録をまとめた書籍(日本語、ハングル)もあわせて出版した。

1900年1月、韓国船が遭難し、泊村に漂着。極寒と飢えの中、半月漂流した乗組員93名全員を泊区民が総出で救護した。日清、日露戦争の渦中、国同士の状況は極めて厳しい中、泊区民は必死で救護に当たり、一人の死者をも出すことなく本国へ帰還させた。

史実を裏づける韓国人の礼状や関係文書、韓国船の係留用ロープ等が発見されている。2003年10月、記念碑前で「日韓友好のつどい」を開催。以後毎年、韓国の高校生や市民団体が訪れるなど国内外から多くの人々が訪問し、地元の人たちとの交流も活発で小浜市の国際交流の拠点となっている。

TOPICS

・酒事(若狭彦姫神社) 9月1日 開催

お問い合わせ先

泊の歴史を知る会 事務局

TEL / 0770-52-6118

FAX / 0770-52-6118

メール / nto@kazu-o.net

URL / <http://kazu-o.net>(風の吹いて来た村)

【交通】

バス / JR小浜駅からあいあいバスで32分

(平日:6便、土日:2便)

